

令和3年度

大妻女子大学 新入学生意識調査報告書

令和3年度入学生の皆さんに、入学時意識調査（アンケート）を実施しました。
ここでは、その調査結果の概要を分かりやすくご報告します。
このアンケートで得られたデータは、皆さんの学生生活や教育の質の向上に生かしていきたいと思えます。
新入生の皆さん、ご協力ありがとうございました。



スクールキャラクター
「おーたん」

調査の概要

- (1) 調査方法
調査は、UNIPA（Web アンケート機能）での実施でした。
- (2) 実施日
令和3年4月6日（火）～4月20日（火）でした。
- (3) 調査対象者
調査対象者は、令和3年度の新入生1895名で、今回はこのうち回答の得られた1511名の集計結果になります。

【Q1】大妻女子大学への入学は、次のどれに当てはまりますか。

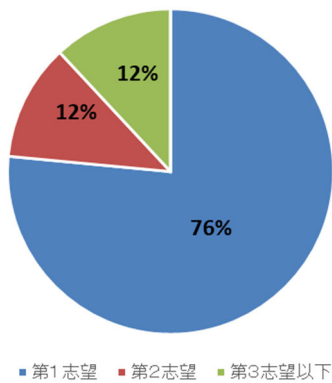
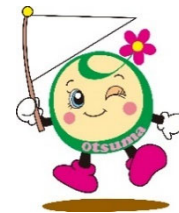


図 1 大妻女子大学の志望度

大妻女子大学を第一志望で入学された学生さんは7割強と高い結果になっております。



【Q2】入学した学科・専攻は、次のどれに当てはまりますか。

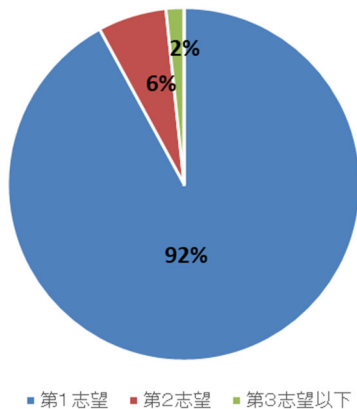
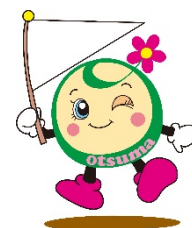


図 2 入学した学科・専攻の志望度

約9割の学生さんが、学びたい学科・専攻に入学しているようです。



【Q3】受験を決めたプロセスについて教えてください。次のいずれのプロセスで受験を決めましたか。

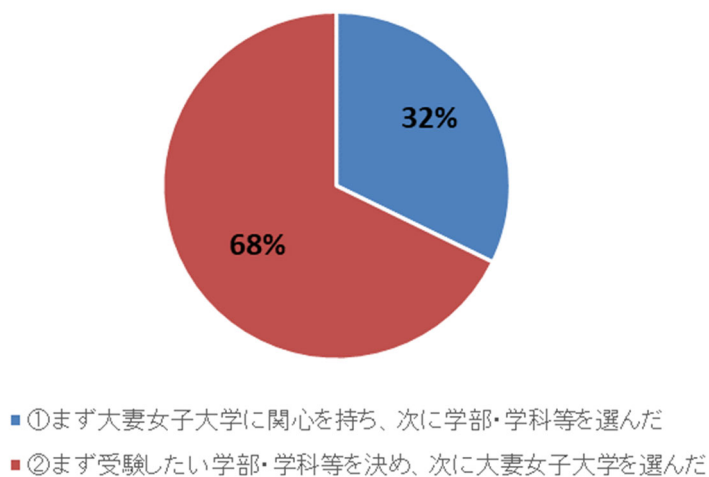


図 3 受験を決めたプロセスについて

Q2の学びたい学科・専攻に入学している結果が示す通り、受験したい学部・学科を決めてから大妻女子大学を選んだ学生が多い結果となりました。



【Q4】 本学への入学理由について、最も近いものから順に、第1位、第2位、第3位をそれぞれ1つずつ選んでチェックしてください。

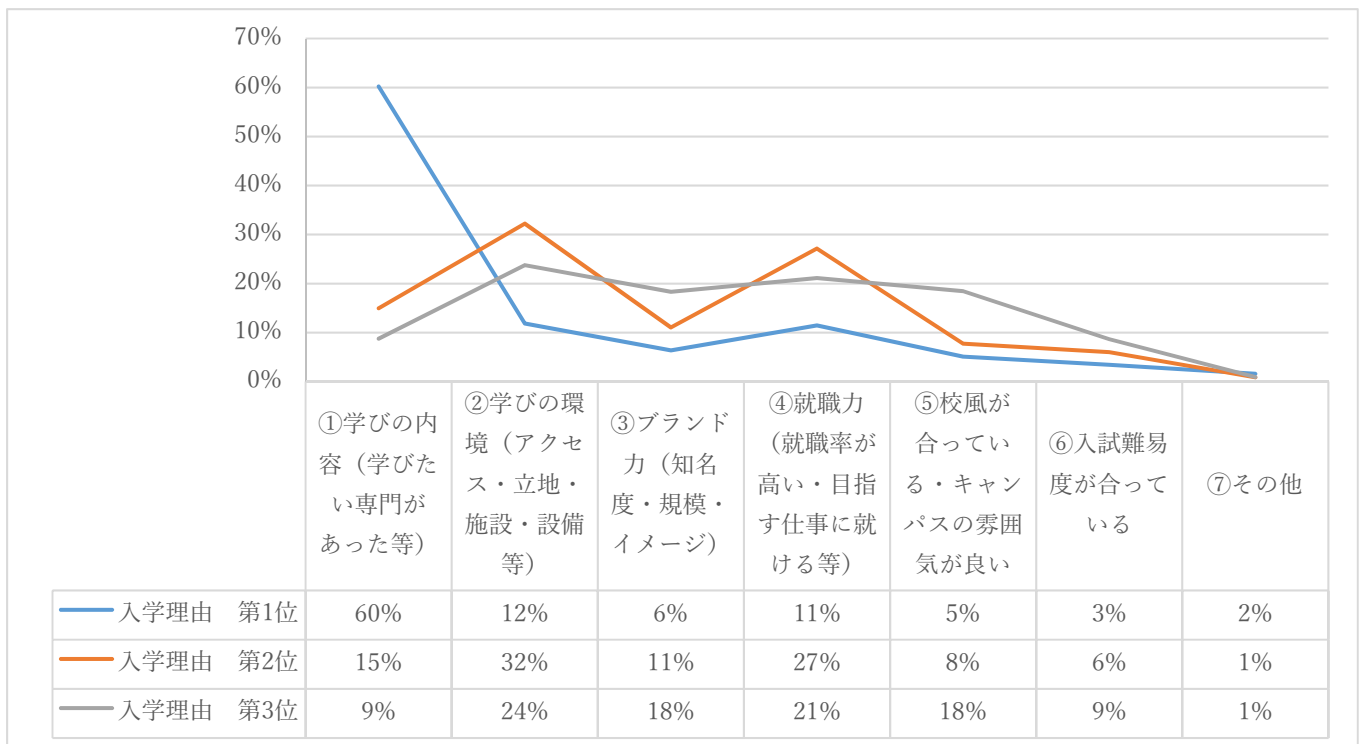


図 4 入学理由の順位

皆さんは、なぜ大妻女子大学を選んだのでしょうか？

その理由を第1位から第3位までたずねました。

もっとも多かったのは、「学びの内容 (学びたい専門があった等)」という学問の追求が理由でした。次いで「学びの環境 (アクセス・立地・施設・設備等)」、「就職力 (就職率が高い・目指す仕事に就ける等)」という項目を入学理由として、挙げた学生が多い結果となりました。

まずは、“学びたい学問を深める”、次に数年間通うこととなる“環境”、そして将来に備える“就職力”を重視した結果が表れているかと思われます。



【Q5】入学前に大妻女子大学に対して持っていたイメージはどのようなものですか。

あてはまるものをすべて選んでチェックしてください。

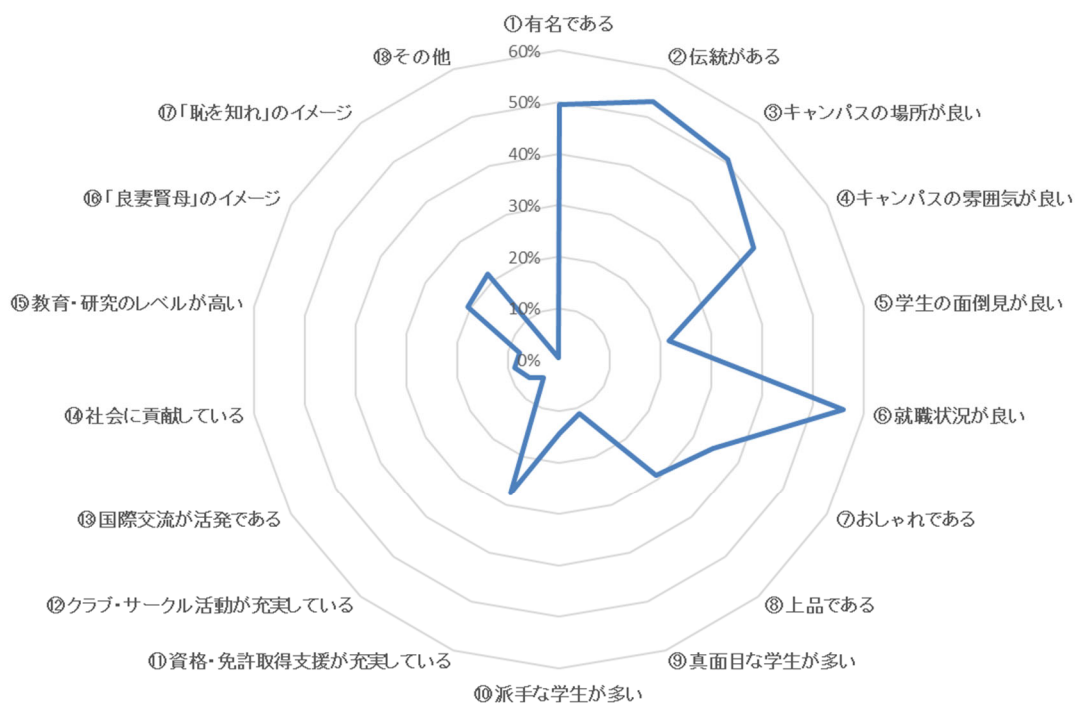


図 5 入学前の大妻女子大学のイメージ

入学生が持っていた大妻女子大学のイメージです。

アンケートの結果、一番高いイメージは「就職状況が良い」でした。やはり、卒業後の将来の就職先を入学前から気にかけている学生が多いことがうかがえます。

次いで「伝統がある」「キャンパスの場所が良い」「有名である」等知名度や環境を大妻女子大学のイメージに結びつけているようです。

一方で、「国際交流が活発である」「社会に貢献している」「クラブ・サークル活動が充実している」などのイメージは低いようです。



【Q6】男女共学校ではなく、女子大学に入学を決めた理由はどのようなものですか。

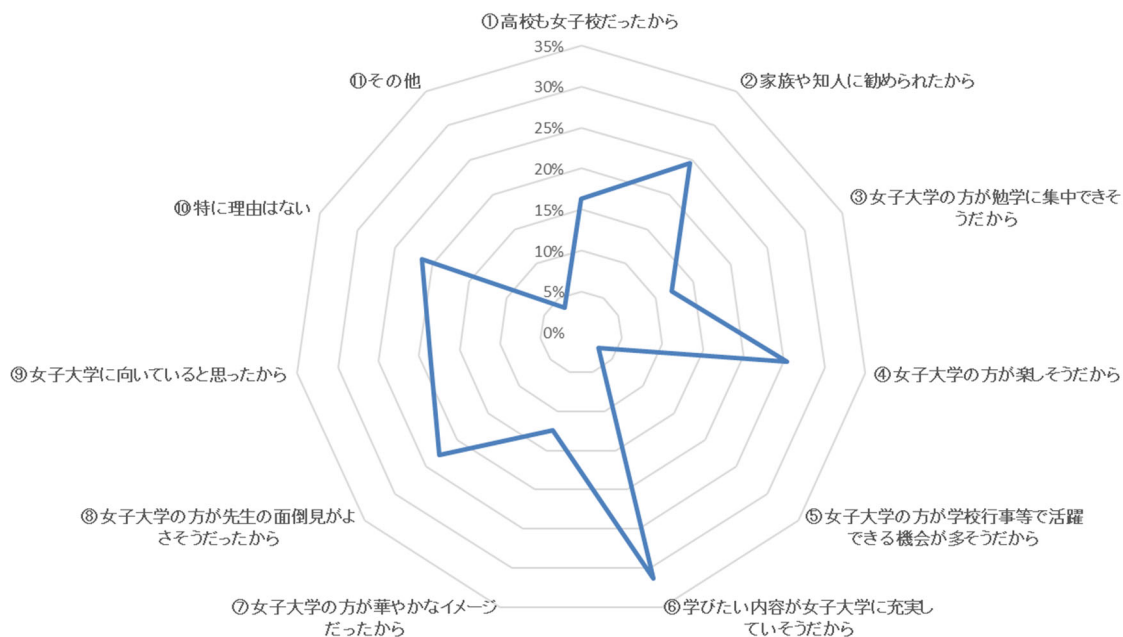
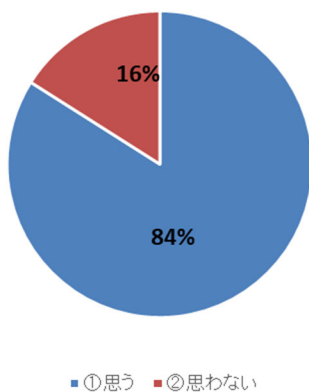


図 6 女子大学に入学を決めた理由

女子大学を選んだ理由 1 位は、「学びたい内容が女子大学に充実していそうだから」、次いで「女子大学の方が楽しそうだから」、「家族や知人に勧められたから」でした。



【Q7】女子大学は男女共学校に比べて就職に有利だと思いますか。

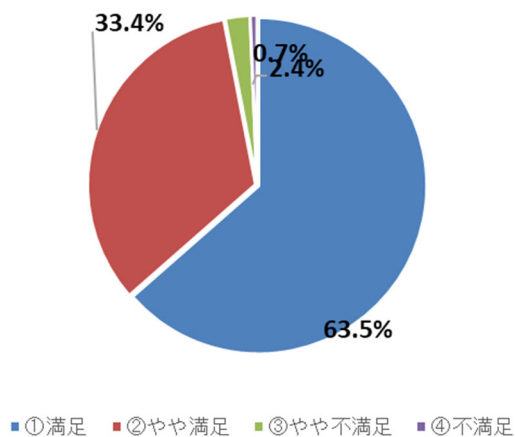


約 8 割の学生が女子大学の方が共学校に比べて就職に有利だと思っているようです。



図 7 女子大学の就職有利度

【Q8】大妻女子大学に入学したことにどの程度満足していますか。



「満足」「やや満足」をあわせると約9割の学生さんが、大妻女子大学への入学に満足しているようです。

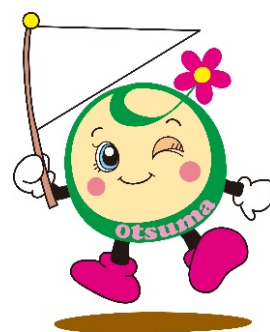
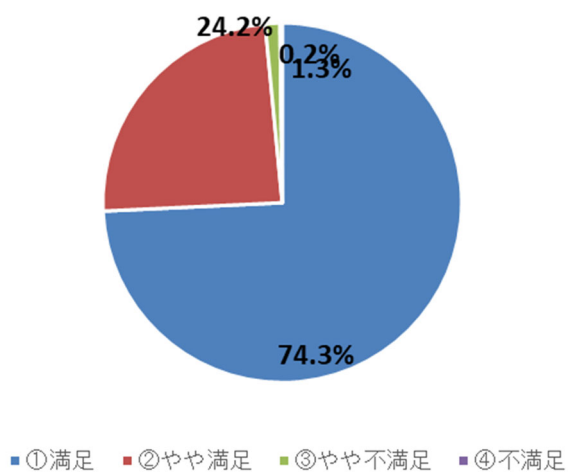


図 8 大妻女子大学への入学に対する満足度

【Q9】所属の学部・学科・専攻に入学したことにどの程度満足していますか。



ほぼすべての学生が、所属へ学部・学科・専攻への入学に満足しているようです。



図 9 所属の学部・学科への入学に対する満足度

【Q10】 高校時代の授業科目について、得意だった科目と苦手だった科目を3つまで選んでチェックしてください。

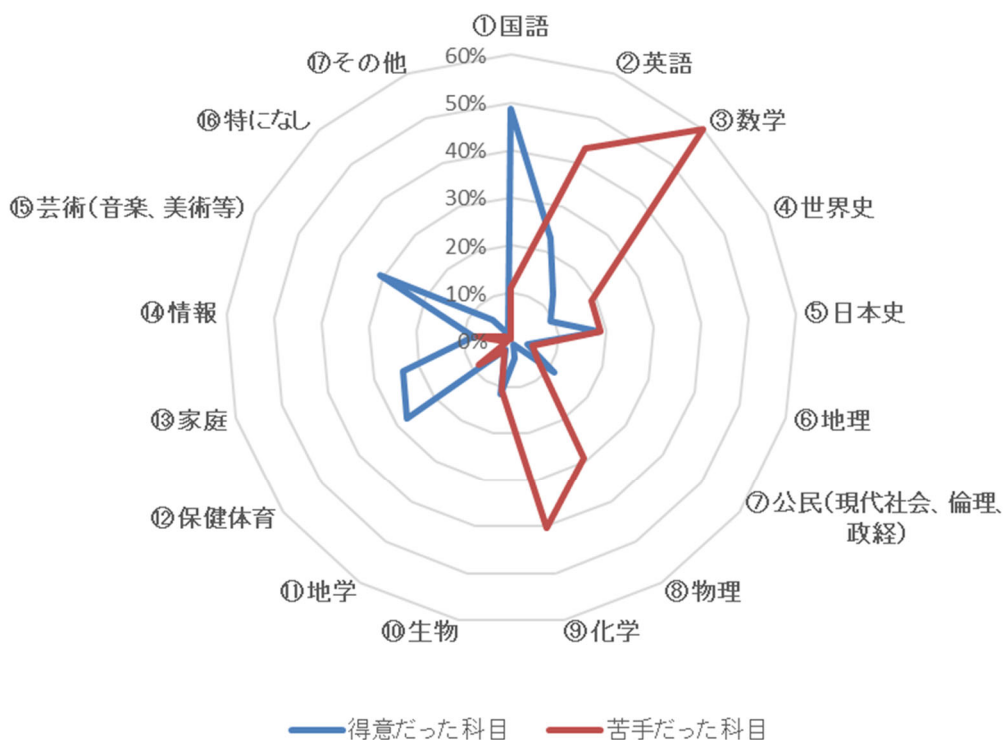


図 10 高校時代の得意科目と苦手科目について

多くの学生が「国語」を得意科目として挙げ、「数学」を苦手科目として挙げた結果となりました。

大学生になってから、授業内容は大きく変化したかと思いますが、得意科目と苦手科目に変化はありましたか？



【Q11】 あなたの高校時代の学習の様子について、当てはまるものをすべて選んでチェックしてください。

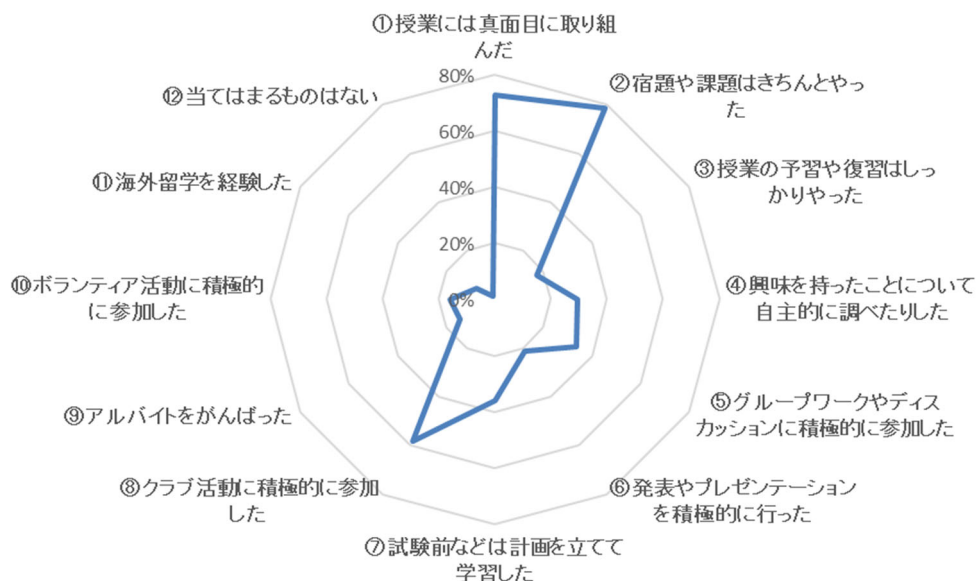
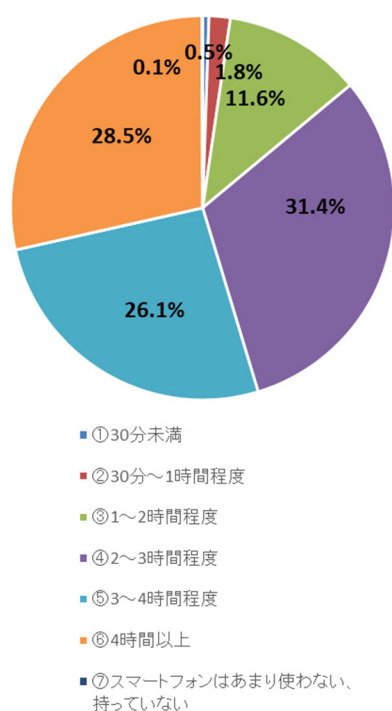


図 11 高校時代の学習の様子について

宿題・課題、授業、そしてクラブ活動とまじめに学習に取り組みながら高校生活を充実してきた学生が多いようです。



【Q12】 あなたはオンライン授業以外でスマートフォンを平均して1日にどの程度利用していますか。



「4時間以上」との回答も約30%と高い割合を占めました。また「30分未満」「スマートフォンを持っていない」と回答した学生はかなり少数でした。

進む情報化社会の中で、スマートフォンはなくてはならないものへと変化しているようです。

今後、膨大に増え続ける情報に対して、どの様にあなたは向き合っていきますか？



図 12 スマートフォンの1日あたりの利用状況

【Q13】あなたが大学進学を選択した理由について、最も近いものから順に、第1位、第2位、第3位をそれぞれ1つずつ選んでチェックしてください。

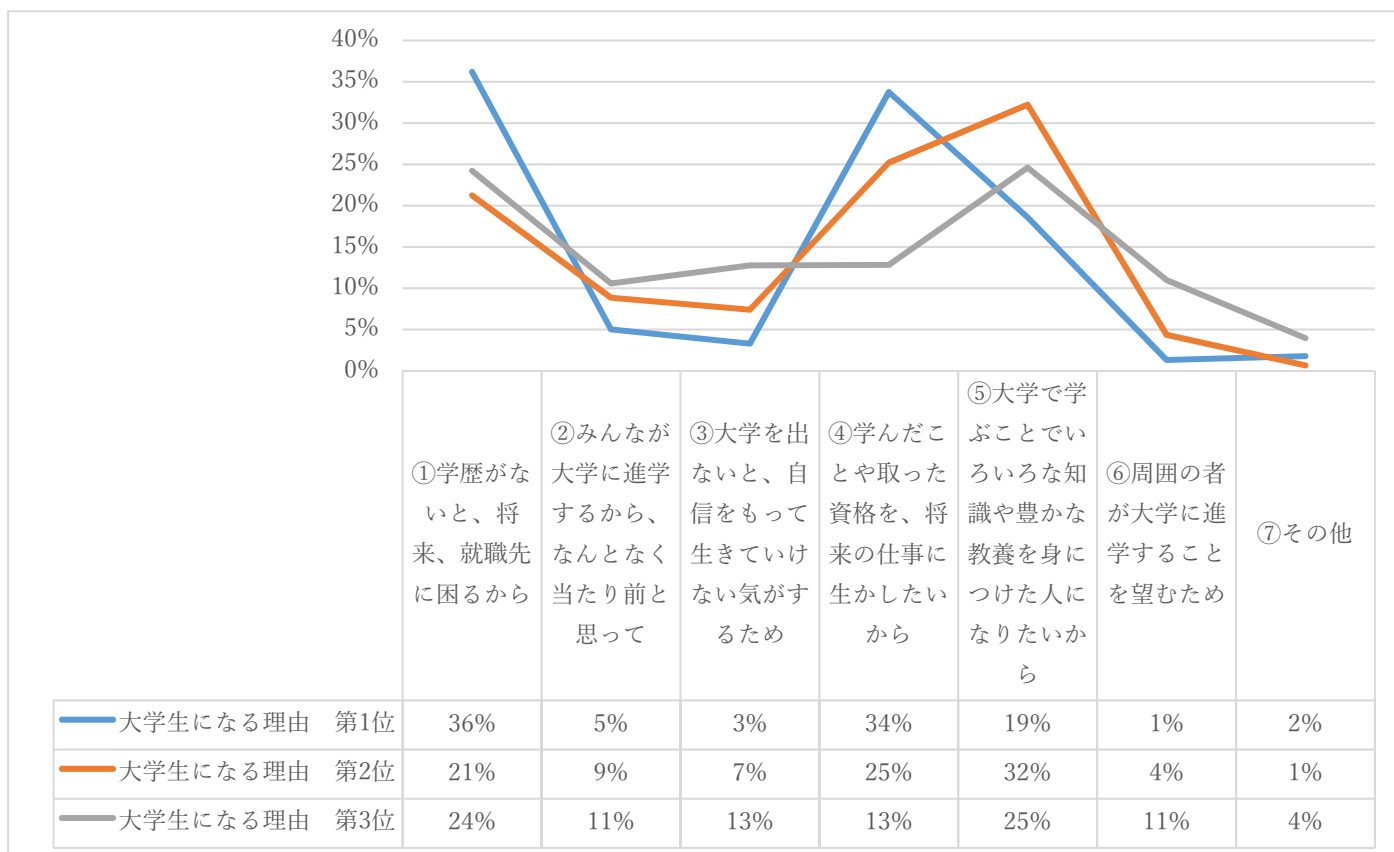


図 13 大学進学を選んだ理由

皆さんは、なぜ大学生になったのでしょうか？その理由を第1位から第3位までたずねました。もっとも多かったのは、「学歴がないと、将来、就職先に困るから」という将来に対する社会的不安要素の解消でした。

他には、「大学で学ぶことでいろいろな知識や教養を身につけた人になりたいから」という自分自身の成長のためや「学んだことや取った資格を、将来仕事に活かしたいから」という目標を持って大学進学をした学生も多いようです。

まずは“生活の安定”、次に“自分自身の目的”という結果になりました。



【Q14】いよいよ大学生活が始まりました。あなたは、大学生活が始まるにあたり、以下のような問題に対して、どのくらい心配しているでしょうか。それぞれの問題について、あなたの心配の程度にもっともあてはまると思うものを選択肢から選んでチェックしてください。

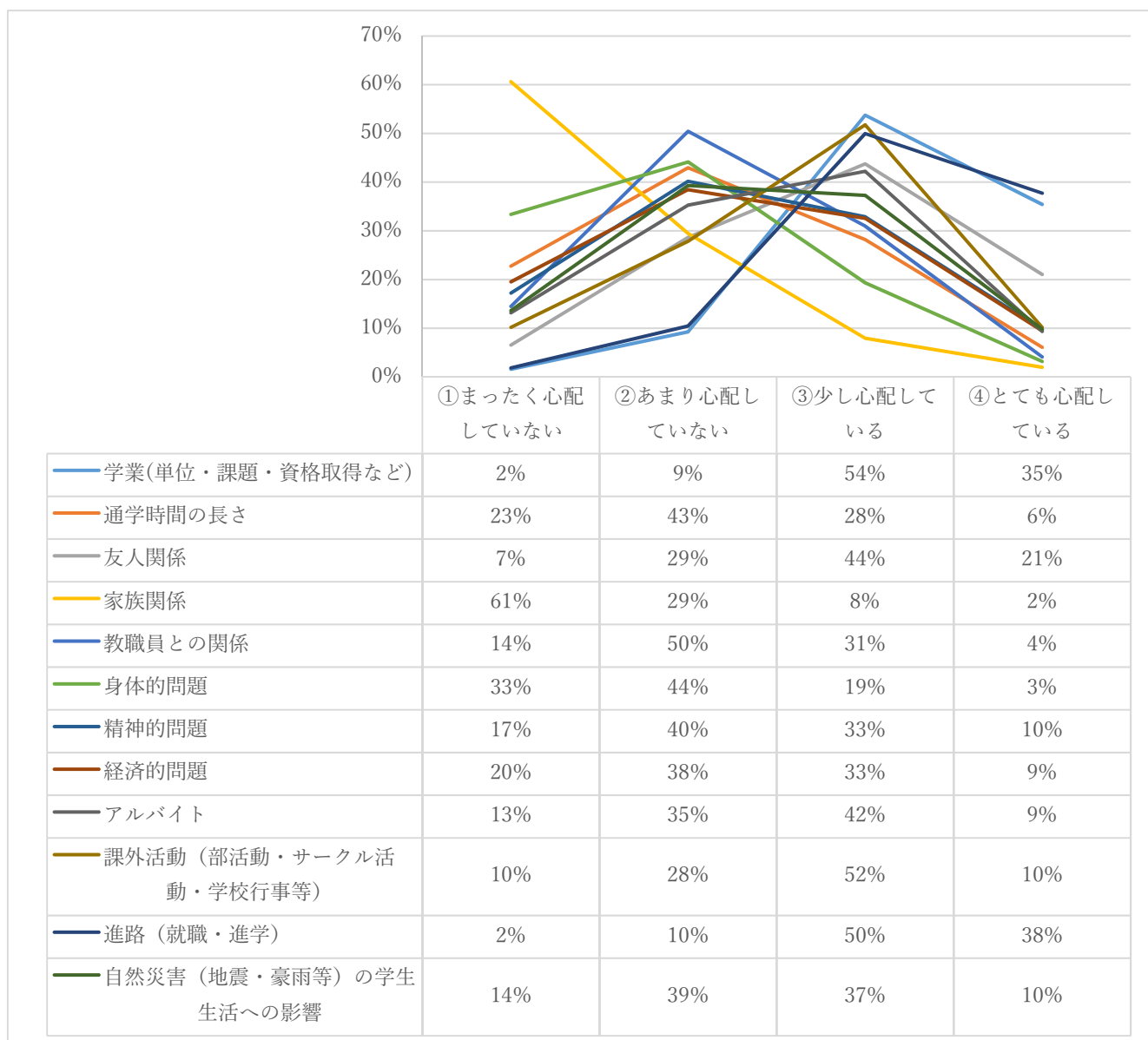


図 14 大学生活を始めるにあたり各項目に対する心配度

③・④の割合から、学生にとって「進路」「学業」「友人関係」に対する不安は高いようです。入学後すぐの調査だったため、友人ができるかどうか気になる時期だったかもしれませんね。一方で「家族関係」を不安にしている人は全体的に少ないようです。現在の大学生活はいかがでしょう？



【Q15】 所属する学部・学科・専攻の3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）を知っていますか。あてはまるものを選択肢から選んでチェックしてください。

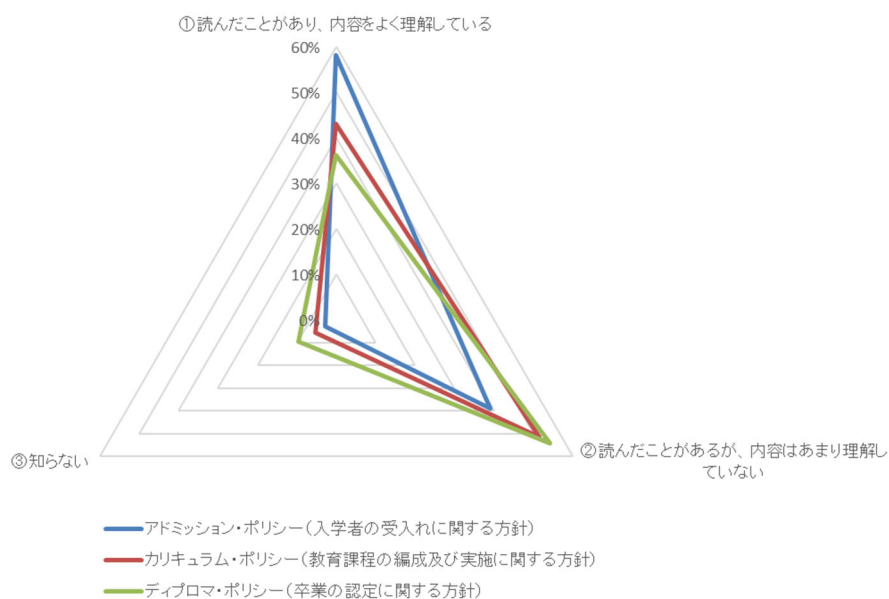
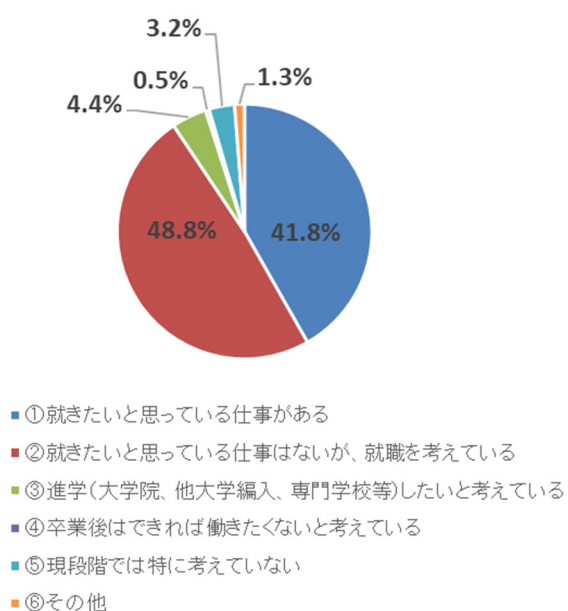


図 15 3つのポリシーの認知度について

入学時はやはりアドミッション・ポリシーの認知度が高いようです。入学後の学習においてはカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーが重要となりますので、理解を深めておきましょう。



【Q16】 卒業後の進路について、現段階でどのように考えていますか。あてはまるものを選択肢から選んでチェックしてください。



現時点で「就職したい仕事がある」と答えた学生が約42%、「就職を考えている」学生は約90%いることがわかりました。また、進学を考えている学生も約4%いました。

長いようであっという間の学生生活を充実しつつ、将来の方向性にも早い段階で目を向け始めている学生も多いことがわかりました。

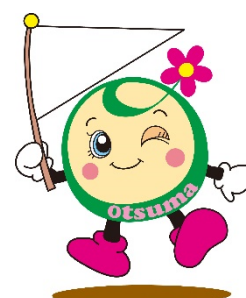


図 16 卒業後の進路について

あとがき

入学当初の慌ただしい中、令和3年度の新入生約8割の学生がアンケートに協力いただきありがとうございました。

今年度は対面を主体とした授業は開始しましたが、緊急事態宣言の発令に伴いオンライン授業が中心で実験実技などは対面授業ということになっています。不安のなかで大学生活を送られていることと思います。

女性の生き方・働き方は今新たな段階に入りました。本学院は学び働き続ける自立自存の女性の育成をめざし、自ら考え行動できる、社会に貢献できる女性の育成に努めています。

毎年新入生のアンケートを行っていますが、近年と全体の傾向は変わっていません。

第1志望の学生が約7割であること、大妻で学びたいことがあるから入学したこと、就職に強く伝統があり立地がいいというイメージを持っていること、不安は就職であること、コツコツ真面目に高校時代を過ごしてきたことなどが読みとれます。

新入生の皆さんが大妻生として学生生活を有意義に過ごしていただけるために、専門分野の知識だけでなく幅広い総合的知識を増やすことにも心がけてください。何を学ぶかだけでなく、なぜ学ぶのか、いかに学ぶのかも大切です。自分で考える力をつけることにこそ努力してください。前向きに物事を進める力をつけ、チームで協働することも学んでください。たしかに大学は学びの場ですが、出会いの場でもあります。いい友と教師との出会いを大切にしてください。そして十分にキャンパスライフを楽しんでください。教職員一同、教育面・生活面だけでなく、就職面での支援を引き続き精力的におこなっていく所存です。

令和3年6月13日
大妻女子大学大学教育推進機構
機構長 山倉 健嗣

令和3年度
大妻女子大学 新入生意識調査報告書
(学生版)

発行日 令和3年7月

編集・著作者 大妻女子大学 大学教育推進機構 / 教育支援グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地